



<http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/index.htm>

大図研京都ワンディセミナーのご案内

テーマ：「これからの大学図書館について考える：そのための視点と手法」

概要：情報社会の進展、特にネットワーク系メディアの登場に伴い「図書館」の社会的機能縮小の必然性が論じられています(*1)。一方で、そのような中、大学図書館では、電子的図書館機能を充実・強化することで、一定、新たな存立意義を確立しようとしてつつあります。図書館が成長する有機体として、さらに成長し続けるためには、そろそろ次の一手、新たな付加価値を模索する時期にきているのではないのでしょうか。これからの大学図書館について、どのように考えればよいか。そのために押さえておくべき視点や取りうるべき手法など、その考え方について、今回は考えてみたいと思います。

(*1) 海野敏, 戸田愼一. "「図書館」の社会的機能縮小の必然性：情報流通の構造変化と図書館の存立意義". 電子図書館：デジタル情報の流通と図書館の未来. 日本図書館情報学会研究委員会編. 東京, 勉誠出版, 2001. 11, p. 11-45, (シリーズ・図書館情報学のフロンティア, No. 1).

講師：井上創造先生 (九州工業大学)

日時：2009年11月21日(土) 13:30~16:40 (13:15~受付開始)

場所：京都市国際交流会館 第2会議室

アクセス：<http://www.kcif.or.jp/jp/access/>

主催：大学図書館問題研究会 京都支部

参加費：大図研会員は無料 / 非会員は500円 (参加費は当日、会場でいただきます。)

申込方法：事前申込制とさせていただきます。11月19日(木)までに、次のいずれかの方法でお申込ください。申込多数の場合、会場の収容人数を考慮し、早めに締め切らせていただくことがあります。

- ・大図研京都支部のサイトから、大図研京都ワンディセミナー申込フォームで申し込む。
- ・支部委員会 (dtkk@rg7.so-net.ne.jp)宛に (1)お名前、(2)ご所属、(3)大図研の会員であるか否か、(4)懇親会に参加するか否か、(5)E-mailを知らせる。
- ・奈良教育大学学術情報研究センター図書館 赤澤久弥 (FAX: 0742-27-9147)宛に (1)お名前、(2)ご所属、(3)大図研の会員であるか否か、(4)懇親会に参加するか否か、を知らせる。

ご不明な点などございましたら、京都支部 支部委員会 (dtkk@rg7.so-net.ne.jp)までお問い合わせください。

[目次]

大図研京都ワンディセミナーのご案内	…	1
支部委員 挨拶	…	2
第40回全国大会報告	…	6
大図研京都支部忘年会のご案内	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたはURLへお寄せください。

電子メール：dtkk@rg7.so-net.ne.jp (大学図書館問題研究会京都支部)

URL：<http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/index.htm>

支部委員 挨拶

7月から、大図研の年度が替わり、2009年度がスタートいたしました。今年度、支部委員を務めさせていただきます10名より、ご挨拶させていただきます。新しい委員も加わり、今まで以上の活動をしていきますので、これからも大図研京都支部をどうぞよろしくおねがいします。

赤澤 久弥 (支部長 / 研究企画 / 支部報編集)

現在、奈良教育大学の図書館に勤務しております。大学にバスが近づくと車窓に開ける飛火野の緑と鹿たちのおおらかな風景には、毎朝ほっとさせられています。

さて、異動で図書館を変わるたびに、それぞれの組織が持つ気風や仕事の仕方の違いを実感します。そこで、大図研が、さまざまな組織、職種、立場にある皆さまをつなぐ場となり、またそれぞれの経験や思い、関心のリミックスから、新しい何かが生まれる場となればと思います。ついては、会員の皆さまには、大図研の活動へいっそうご参加いただけるよう引き続き努めたいと思いますので、どうぞお気軽に、運営や企画等へのご意見やご要望をお寄せください。それでは、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

あかざわ ひさや (奈良教育大学学術情報研究センター図書館)

池田 貴儀 (支部報編集)

日本原子力研究開発機構の池田です。普段は、原子力機構で創出された研究開発成果を取りまとめた研究開発報告書類 (JAEA レポート) の編集・刊行、外部からの著作権許諾対応 (転載許諾等)、成果普及情報誌「未来を拓く原子力」の事務局等の業務を担当しています。

支部委員になって5年目となりました。引き続き「研究企画」と「支部報編集」を担当させていただきます。今年もワンディセミナー等の企画や支部報の発行を通じて、会員の皆様にとって有意義な交流の機会を提供していきたいと考えています。大図研の活動としては、今年度も常任委員、会報「大学の図書館」の編集委員を引き続き務めます。一年間よろしくお願いいたします。

いけだ きよし (日本原子力研究開発機構研究技術情報部)

大綱 浩一 (副支部長 / Web サイトと ML)

みなさま、2009年度支部委員を務めます、京都大学の浩一です。こんにちは。

支部委員会では、Web サイトと ML ゆりかもめの管理を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。Web サイト関連では、経費節減と容量拡張のため、プロバイダーの変更を計画しています。そのため、プロバイダーの変更に伴い、Web サイトの URL や ML ゆりかもめのメールアドレスも変わる予定です。ご迷惑をおかけいたしますが、新しい URL が決まり次第、お知らせするとともに、移行期間を設けるようにいたしますので、どうぞご理解いただけますよう、お願いいたします。

また、あわせて全国委員として、全国大会の運営に当たります。こちら、開催要項

がまとまり次第、順次、お知らせしていきたいと思いますので、是非、多くの方々に、ご参加いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

おおつな こういち (京都大学附属図書館)

坂本 拓 (支部報編集 / メールマガジン)

私ごとですが、10/1日に異動があり、山奥の小さな図書室に移ることになりました。ここは前の15人近い人間がいる部署とは違って、1人で図書室の全てをしないといけないところです。悪く言えば、「1人でいろんなことをしないといけない」、よく言えば「1人で図書室についてやりたいことを何でもできる」ところです。

しかしまだ図書館員になって3年半の経験、それも整理系業務の経験しかない私が1人で図書室を管理するということは言うまでもなく危険です。1人でいると、自分が何を知らないかさえ知らないまま、誤った方向で1つの図書室を腐らせてしまう可能性があります。

大図研の中には1人きりとまではいかないまでも、私と似たように少人数で図書館をきりもりされている方も多くいると思います。大図研全国のメーリングリスト dtk では、よく「他大学の図書館ではこのようなケース時はどうされているのですか」、といった内容の質問が流れ、必ず何人かの方がそれについての情報提供をしています。だれがメンバーかもわからないのに、気軽に質問できるということ、そして必ず誰かがそれにレスをすること、このような現場同士のつながり、が大図研という組織の一つのアイデンティティなのではないのかなあ、と最近強く思っています。

もちろん、京都支部も大図研の支部の一つです。今年度2009年度は、より支部会員の皆様と密接につながりながら運営していけるように、支部報の特集、セミナーの企画など、リクエストをどしどしお寄せいただきたいと思います。また1年、どうぞよろしくお願いいたします。

さかもと たく (京都大学工学研究科・工学部地球系図書室)

辰野 直子 (研究企画 / Web サイトと ML)

支部委員を務めさせて頂いてから、丸7年が経ちました。この7年間、京都支部の活動を通して、多くの方と出逢い多くの経験をさせて頂いたことに感謝しています。

年度の始まりに当たり、会員の方々のお名前をあらためて眺めてみると、セミナー等でお会いしたことがない、支部報誌面でお名前を拝見したことがない、そんな方の少なくないことに気づかされます。もちろん、関わり方は人それぞれですので、手元に届く支部報を読むだけで十分という方もおられるでしょう。それでも、セミナーの内容が興味関心からずれているのか、あるいは、興味があっても気後れして参加しないのか、・・・等、考えずにはられません。

今年度、「研究企画」(セミナー等の企画)、「Web サイトと ML」を担当します。セミナーへの皆様のご参加をお待ちしております。また、セミナーやHP、支部の運営について、ご意見・ご要望等、お寄せ頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

たつの なおこ (滋賀医科大学附属図書館)

長坂 和茂 (支部報編集 / 支部報印刷と発送)

前年度に引き続き、支部委員として参加いたします、長坂です。丸一年支部委員を務めてみて改めて、自分はまだ何も分かっていない、ということがよく解りました。今年度は、それを踏まえた上で少しずつでも「大学図書館をとりまく諸問題」について理解し、会員の皆様と共に解決への糸口を探ることが出来るようがんばります。

今年度は、支部報編集担当と支部報の印刷と発送という、支部報関係の二つの仕事を担当いたします。京都支部の活動の根幹となる、この支部報ですので、会員の皆様に有効活用していただけるものとなれるよう、努力を重ねていきたいと思っております。

京都支部では支部報のほかにもセミナーなどの場で、会員同士のコミュニケーション促進をはかっていますので、会員の皆様には是非こういった場を活用していただければと思います。決して安くは無いく金額を投資しているのですから、最大限使わなきゃ損ですよ。

ながさか かずしげ (京都大学経済学研究科図書室)

西野 紀子 (研究企画 / 支部報編集)

今年度も引き続き京都支部の支部委員を務めさせていただきます、西野と申します。現在、理工系図書館のレファレンス業務と利用者教育を担当しております。

昨年度はまだ右も左もわからない状態で、みなさんに助けていただきながらも、なんとか支部委員を務めることができました。研究企画ではたくさんの方に参加していただき、いろんな刺激を受けることができました。昨年度に比べると状況がわかってきたつもりですので、今年度も微力ながらお役に立てるよう活動してきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

にし のりこ (立命館大学図書館サービス課メディアセンター (委託職員))

野間口 真裕 (組織・財政 / 支部報印刷と発送 / メールマガジン)

今年度より、支部委員を務めさせていただくこととなりました。2004年より京都大学で勤務を始め、あっという間に5年という月日が経ってしまいました。この10月の異動により、桂キャンパスから吉田キャンパスへと戻ってまいりましたので、心機一転また一歩ずつ頑張っていこうと思っています。

支部委員として、会員の皆様が大学図書館の諸問題を考えることへの一助となれましたら幸いです。どうぞ1年よろしくお願い致します。

のまぐち まさひろ (京都大学経済学研究科図書室)

山下 ユミ (組織・財政 / 支部報印刷と発送)

今年度から支部委員として参加させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

京都支部ではイベントを毎年次々と企画していますし、支部報もきちっと出しています。だから、これまでずっと、支部委員の人たちは一人当たりのノルマがきつかったり、いろ

んな雑用に追われたりして大変に違いない、と想像していました。けれども実際には、すべての業務は委員それぞれの希望を言いながら分担を決めて、複数の人でひとつの業務を担当しているので、ひとりに負担がかからず、問題は何かもないようです。

日々の業務に追われ、他の大学図書館の人たちとの交流している時間なんてないと思う図書館員の方々もいらっしゃるかもしれませんが、図書館の世界で人員削減が進む今こそ、ネットワークを広げ、深めることの効果が表れる時期です。他の図書館の状況を知り、自分の図書館でできる工夫を探し、ヒントを得ることで実務的にも助かりますし、悩みを共有したり相談したりできることで、精神的にも癒されます。

だから、一度もイベントに参加したことのないあなたも、今度はぜひ、大図研のイベントや忘年会に足を運んでみてください！お待ちしております。

やました ゆみ (京都府立医科大学附属図書館)

渡邊 伸彦 (組織・財政)

京都大学附属図書館の渡邊です。今期も支部委員として大図研に関わらせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

さて、今回はネタをどうしようかと考えていたところ、「支部委員の仕事が少しでも知ってもらおうように」とのお達しがありましたので、今期私が担当する「組織・財政」についてお話しさせていただきます。

「組織・財政」担当とは文字通り京都支部の「構成員管理」と「会計」のお仕事です。具体的には、京都支部の会員が現在どこに勤めていて、どこに会報を送ることを希望していて、どれくらい会費を払っているか、などを管理しています。またその情報を大図研本部と共有し、時に会員に関する問い合わせに答えます。

会計は、京都支部は年間 30 万円程度の予算が組まれる小規模な団体ながら、その経理を担います。おおよそは会報と企画の費用となりますが、その調整と、会費徴収が主な仕事です。会費を主な財源とする団体はどこも同じようなものだと思いますが、会費の督促は非常に頭の痛い問題です。幸いにも京都支部はこの数年間の取り組みの結果、長期滞納問題を解消することができましたが、またいつ何時同じ問題が出るとも限らず、気を抜くことはできません。

現在、この「組織・財政」は私を含め複数名の担当を置き、仕事を分担しています。この体制に助けられている部分は多くありますが、協力者は多いに超したことはありません。「できる範囲で協力してみようかな?」「俺にも支部委員をやらせろ!」など思ってしまったら、お近くの支部委員までお知らせください。是非、ご協力をお願いしたいと思います。

それでは、長くなりましたが、これからも諸々の支部活動にご協力よろしく願いいたします。

わたなべ のぶひこ (京都大学附属図書館)

第40回全国大会(群馬)

全体会での京都支部からの発言について

赤澤 久弥

先の全国大会に際して、京都支部メーリングリスト“yurikamome”にて([yurikamome:551])、「全体会」でお伝えするご意見・ご提案を募った結果いただいたものを、出席した支部委員が全体会にて、発言いたしました。「全体会」とは、大学図書館を巡る諸問題を討議するとともに、大図研の活動に関する、前年度の総括と新年度の方針決定の場です。

以下で、発言とその場で常任委員からいただいた回答をお知らせします。時間等の関係もあり、十分に議論を尽くせなかったところ等もありますが、京都支部からの意見・提案については、議論のきっかけとして、また今後の大図研運営への提案として、前向きに受け止めていただけたものと感じております。

さて、大図研は、会員の皆さま一人ひとりのお力で運営される団体です。つきましては、今後とも、積極的なご意見やご提案、活動へのご参加をお待ちしております。また、来年の全国大会は大阪にて開催予定ですので、どうぞふるってご参加ください。

なお、以下のまとめについては、意を尽くせていないところ等あるかと思いますが、文責は赤澤にあるということで、どうぞご了解ください。

京：京都支部 常：常任委員

○「討議資料」について

京：「組織運営」について述べられているが、「大学図書館員の資質とキャリア」について、大図研としてどのように考えるのか。また、非常勤職員等も含めた上で、大学図書館員という職種の特長性向上についての視点が必要ではないか。

常：大学図書館員のキャリア形成に関する指摘については、指摘のとおりである。とくに業務委託スタッフの数については文部科学省の統計にも見えてこないなど、実態把握上からの問題も存在している。

しかしながら、多くの私学は、職員問題について、組織的に取り組むには既に厳しい状況となっている。よって、職員問題については、国立大学図書館協会人材委員会の取り組みに期するところが大きいと考える。また、個人ベースでの取り組みの如何も、問われていると思う。

○第2号議案(予算・決算)について

京：収入より支出が超過しているが、対応策はあるか。

常：赤字前提の予算となっていることは、認識している。対応策として、会費値上げはできないので、会員を増やす活動を進めるしかないと考えている。

本部会計担当：本部会計業務のマニュアル化を進めている。

○全国大会の広報体制について

京：研究発表のテーマが大会直前に周知されたが、事前に発表内容を知ることによって参加者が増える可能性もある。については、早期に発表者を確定の上、Webサイト上での広報、チラシ送付など多様な手段で広報を行ってはどうか。

常：研究発表については、早期から dtk・ml で公募しているが、なかなか応募がなく、依頼して実現している事情がある。個人研究、支部での取り組みの報告など、会員からの積極的な応募も期待したい。

なお、チラシの送付については、今回は群馬支部が県内機関に送付している。

○大図研 Web サイトの改善及び常任の負荷分散について

京：大図研 Web サイトによる全国大会の広報のほか、大図研をアピールする場として、より積極的な Web サイトの活用を提案したい。しかし、現実問題として、常任が厳しい体制の中で各種運営をしていることは理解している。については、Web サイト運営の他、東京近辺以外の支部や会員でも対応できる分担体制もあり得るのではないか。

常：常任は会員の代表として運営を行っているものであり、大図研は、全体で活動するものと考えている。については、具体的に何ができるか、という形で提案をいただけるとありがたい。Web に関する分担については、あり得ることだと考える。

福岡支部：昨年の福岡大会では、SNS による広報等を展開した。Web サイト運営については、有志が管理運営を行う「技術部」的な取り組みはどうだろうか。

○議長団まとめ

京都支部から前向きな提言と受け止めたい。会費未収金減や広報については、今後、取り組んで行きたい。

注：以上は、[yurikamome:556]でお知らせした内容に、一部加筆訂正したものです。

なお、“yurikamome”は、大学図書館問題研究会の会員であれば、どなたでもご参加いただけます。登録方法等の詳細は、以下をご覧ください。

<http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/yurikamome.htm>

あかざわ ひさや (奈良教育大学学術情報研究センター図書館)

大図研京都支部忘年会のご案内

いよいよ、今年も終わりに近づいてきました。今年も大図研京都支部では忘年会を開催いたします。普段はセミナーなどに参加されていない方も、ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時：2009年12月3日(木) 19:30～

場所：おとぎの国の居酒屋文福茶釜のたぬき 六角店

(京都府京都市中京区河原町通六角東入ル 六角テラスビル B1F)

参加費：大図研会員 / 非会員ともに 4,000 円程度 (参加費は当日、会場にていただきます。)

申込方法：当日の飛び入り参加も歓迎しますが、事前に参加人数を把握するため、お近くの支部委員または支部委員メーリングリスト (dtkk@rg7.so-net.ne.jp) まで、お知らせください。皆様の参加をお待ちしております。

(参考：<http://www.hotpepper.jp/strJ000025759/>)

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。既に2009年度(大図研会計年度2009.07 - 2010.06)に入っておりますので、2009年度の会費の納入をお願い致します。また、2008年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

会費は、¥7,000 (大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000) です。

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部 (dtkk@rg7.so-net.ne.jp)、または支部委員(組織・財政担当)の渡邊伸彦 (〒606-8317 京都市左京区吉田本町 京都大学附属図書館資料管理掛気付 渡邊宛 電話：075-753-2647) まで。